

# とみか

No.175  
2019. 10  
令和元年10月25日発行

町議会  
だより

編集：議会広報委員会 発行：岐阜県富加町議会

〒501-3392 岐阜県加茂郡富加町滝田1511 TEL 0574(54)2111



## 富加町誕生65周年の節目を祝う

町誕生65周年を祝う記念式典が10月1日に行われ、議会を代表して梅村議長が、ハナミズキを記念植樹しました。  
(板津町長と庁舎玄関前にて)

## 主な内容

第4回定例会	2	平成30年度決算審査意見書	5
人事案件		町政Q & A 一般質問 6人が登壇	9
(教育長、教育委員、人権擁護委員)	2	常任委員会視察研修報告	15
中濃地域農業共済事務組合の解散等に		議員研修(町内企業訪問)報告	18
関する協議	2	議会の活性化を進めています	19
条例の制定及び一部改正	2, 3	傍聴者アンケート	20
委員会活動	3	議会の動き／編集後記	20
令和元年度補正予算	4		

富加町議会本会議の様子は、こちらのQRコード(富加町ホームページ)からご覧いただけます。  
本会議当日は、役場1階ロビーのテレビモニターにおいてライブ中継を行っています。  
富加町議会 録画映像 <http://smart.discussvision.net/smart/tenant/tomika/WebView/list.html>



町議会 録画

## 令和元年第四回定例会

九月十日から二十日までを会期として、第四回町議会定例会が開催されました。  
今期定例会には、人事案件三件、中濃地域農業共済事務組合の解散等に関する協議三件、条例の制定一件、一部改正十一件、令和元年度富加町一般会計・特別会計等補正予算七件、平成三十年度富加町一般会計・特別会計等歳入歳出決算認定七件、報告案件二件が上程され、審議されました。

### 人事案件

▽富加町教育長の任命につき同意を求めることについて



粥川 友和 さん  
(本郷)

任期満了に伴う富加町教育長に、粥川友和さんを任命することに同意しました。  
(全員賛成・同意)

▽富加町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて

任期満了に伴う富加町教育委員会の委員に、大野裕司さんを任命することに同意しました。  
(全員賛成・同意)



大野 裕司 さん  
(下町)

▽人権擁護委員の推せんにつき意見を求めることについて

任期満了に伴う人権擁護委員の推せんにつき意見を求めることについて、村井千文さんを適任と認めました。  
(全員賛成・認定)



村井 千文 さん  
(町屋)

### 協議

▽中濃地域農業共済事務組合規約の一部改正に関する協議について

中濃地域農業共済事務組合が解散した場合、関市が事務を承継することに賛成しました。  
(全員賛成・可決)

▽中濃地域農業共済事務組合の解散に関する協議について

中濃地域農業共済事務組合が令和二年三月三十一日をもって解散することに賛成しました。  
(全員賛成・可決)

▽中濃地域農業共済事務組合の解散に伴う財産処分にに関する協議について

中濃地域農業共済事務組合の解散に伴い、

同組合の財産を全て岐阜県農業共済組合へ帰属させることに賛成しました。  
(全員賛成・可決)

### 条例の制定

▽富加町会計年度任用職員給与及び費用弁償に関する条例の制定について

会計年度任用職員制度の導入に伴い、給与及び費用弁償に関する事項について定めました。  
(全員賛成・可決)

### 条例の一部改正

▽富加町印鑑条例の一部改正について

住民基本台帳法施行令等の改正に伴い、旧姓による印鑑登録について改正しました。  
(全員賛成・可決)

▽富加町職員の給与に関する条例等の一部改正について

成年被後見人制度の利用の促進に関する法律に基づき、成年被後見人等に係る失格条項その他の権利の権限に係る措置について、関連する三つの条例を改正しました。  
(全員賛成・可決)

▽富加町福祉医療費助成に関する条例の一部改正について

児童扶養手当法の改正に伴い、母子、父子医療費の助成に係る所得の判定基準等を改正しました。  
(全員賛成・可決)

▽富加町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について

災害弔慰金の支給等に関する法律の改正に伴い、災害援護資金の貸付けを受けた者に対

## 委員会活動

### 総務産業建設常任委員会

#### 町単独工事（令和2年度以降施工分）申請の採択の可否を決定

9月18日の総務産業建設委員会では、今年度自治会から要望があった町単独工事（道路改良3件、排水路改修3件、舗装6件）の採択について協議し、その可否を決定しました。

また、9月定例会に上程され、委員会に付託された議案等については、審議の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。



現場で建設課職員から説明を受ける委員

委員長 木村議員  
副委員長 山田議員  
委員 川崎議員  
梅村議員

### 文教厚生常任委員会

#### 「子育て支援拠点施設の設置及び管理に関する条例」の一部改正などの議案を可決すべものと決定

9月19日の文教厚生委員会では、9月定例会に上程され、委員会に付託された「富加町子育て支援拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について」の議案について審議しました。この議案は、子育て支援拠点施設「すくすく」において0歳から2歳未満児の保育事業を実施するためのもので、子育てニーズに対応する事業として原案どおり可決すべきものと決定しました。また、その他の付託議案等についても、審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。



文教厚生委員会のような

委員長 福田議員  
副委員長 井戸議員  
委員 佐曾利議員  
渡邊議員



する償還金の支払猶予等を改正しました。  
（全員賛成・可決）

▽富加町子育て支援拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について  
子育て支援拠点施設「すくすく」が行う事業に保育事業を追加する改正をしました。  
（全員賛成・可決）

▽富加町特定教育・保育施設等に関する利用者負担を定める条例及び富加町認定こども園の設置及び管理に関する条例の一部改正について

子ども子育て支援法の改正に伴い、令和元年十月から実施される幼児教育・保育の無償化に関する事項を改正しました。  
（全員賛成・可決）

▽富加町特定用途制限地域における建築物等の用途の制限に関する条例の一部改正について  
条文の意図を明瞭に表現するため、字句等を改正しました。  
（全員賛成・可決）

▽富加町下水道条例の一部改正について  
消費税法の改正に伴い、必要な事項を改正しました。  
（全員賛成・可決）

▽富加町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について  
消費税法の改正に伴い、必要な事項を改正しました。  
（全員賛成・可決）

▽富加町水道事業分担金条例の一部改正について  
消費税法の改正に伴い、必要な事項を改正しました。  
（全員賛成・可決）

▽富加町水道事業給水条例の一部改正について  
消費税法の改正に伴い、必要な事項を改正しました。  
（全員賛成・可決）



## 補正予算

## ▽一般会計補正予算(第三号)

六千六百三十七万三千円を追加し、歳入歳出それぞれ三十一億千七百六十八万千円とするものです。

歳入の主なものは、地方交付税三千百八十万六千円、基金繰入金二千五百九十六万五千円を増額するものです。

歳出の主なものは、川浦川左岸線道路整備工事及び駐車場整備に係る用地取得費三千五百十四万円、子育て支援拠点施設改修工事費二百四十六万四千円を増額するものです。

(全員賛成・承認)

## ▽一般会計補正予算(第四号)

百五十万円を追加し、歳入歳出それぞれ三十一億千九百八十八万千円とするものです。

歳入については、繰越金百五十万円を増額、歳出については、議場システム改修工事費百五十万円を増額するものです。

(全員賛成・承認)

## ▽国民健康保険特別会計補正予算(第一号)

四百九十二万四千円を追加し、歳入歳出それぞれ六億四千九百九十四万四千円とするものです。

歳入については、繰越金四百九十二万四千

円を増額するものです。

歳出については、前年度精算に伴う保険給付費等交付金の返還金四百九十二万四千円を増額するものです。

(全員賛成・可決)

## ▽後期高齢者医療特別会計補正予算(第一号)

八万五千円を追加し、歳入歳出それぞれ六千五百三十一万五千円とするものです。

歳入については、繰越金十一万三千円を減額、過年度分保険事業精算金十九万八千円を増額するものです。

歳出については、後期高齢者医療広域連合保険料等負担金十一万三千円を減額、一般会計繰入金十九万八千円を増額するものです。

(全員賛成・可決)

## ▽介護保険特別会計補正予算(第一号)

四百二十二万九千円を追加し、歳入歳出それぞれ五億九百五十一万九千円とするものです。

歳入の主なものは、国庫・県負担金の介護給付費負担金二百九十六万円、繰越金九十九万五千円を増額するものです。

歳出の主なものは、国庫支出金等過年度分償還金二百十五万六千円を増額するものです。

(全員賛成・可決)

## ▽特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第一号)

三十万九千円を追加し、歳入歳出それぞれ二億二千七百五十九千円とするものです。

歳入については、他会計繰入金四百六十八万五千円を減額、繰越金四百九十九万四千円を増額するものです。

歳出の主なものとしては、量水器購入費三十万九千円を増額するものです。

(全員賛成・可決)

## ▽水道事業会計補正予算(第一号)

収益的収入に五万円、収益的支出に五万円を追加し、収入支出それぞれ一億三千九百七十五万四千円とするものです。

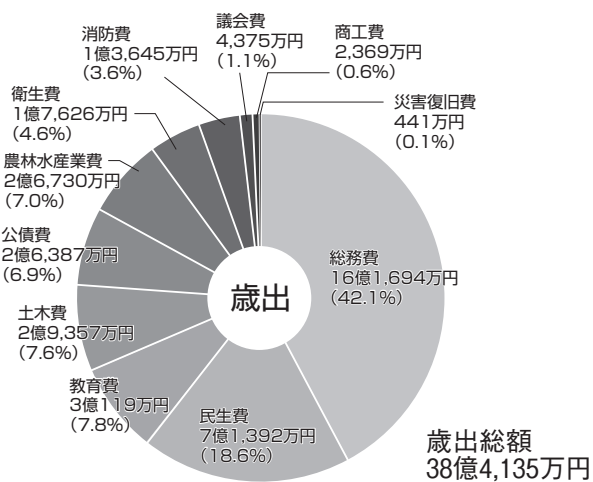
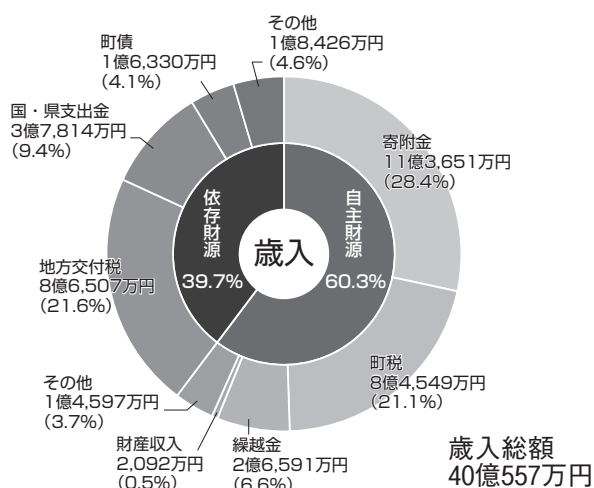
収入については、他会計補助金五万円を増額するもので、支出については、職員手当五万円を増額するものです。

また、資本的収入については、一般会計出資債を財源とする他会計補助金百三十万円を追加し、収入予算額七千三十四万八千円とするものです。

(全員賛成・可決)



## 平成30年度一般会計決算



## 決算意見書に関わる表

表① 歳入歳出比較 (単位:円)

区分	歳入	歳出	歳入歳出差引額
決算総額	5,548,496,289	5,341,880,759	206,615,530
一般会計決算額	4,005,568,245	3,841,345,263	164,222,982
特別会計決算額	1,542,928,044	1,500,535,496	42,392,548

表② 特別会計の内訳 (単位:円)

区分	歳入	歳出	歳入歳出差引額
国民健康保険	670,079,840	650,024,995	20,054,845
後期高齢者医療	61,478,469	60,585,769	892,700
介護保険	462,574,485	448,302,687	14,271,798
特定環境保全公共下水道事業	220,855,506	214,521,483	6,334,023
農業集落排水事業	127,939,744	127,100,562	839,182

表③ 前年度比較 (単位:円)

区分	平成30年度	平成29年度	比較増減
歳入			
決算総額	5,548,496,289	4,911,317,819	637,178,470
一般会計決算額	4,005,568,245	3,292,447,752	713,120,493
特別会計決算額	1,542,928,044	1,618,870,067	△75,942,023

歳出 (単位:円)

区分	平成30年度	平成29年度	比較増減
歳出			
決算総額	5,341,880,759	4,595,952,131	745,928,628
一般会計決算額	3,841,345,263	3,026,537,194	814,808,069
特別会計決算額	1,500,535,496	1,569,414,937	△68,879,441

## 平成三十年年度決算審査意見書

富加町監査委員 高垣 昌司  
川崎 伸泰

地方自治法第二百三十三条第二項の規定により審査に付された、平成三十年度富加町一般会計・特別会計決算書、歳入歳出決算書及び事項別明細書、実質収支に関する調査及び財産に関する調査並びに各関係諸帳簿、証書類につき審査をしたので、次のとおり意見書を提出します。

### 一、審査の対象

- (一) 富加町一般会計歳入歳出決算書
- (二) 富加町特別会計歳入歳出決算書
- (三) 富加町各基金運用状況並びに財産の

管理状況について

(四) 富加町公債費の状況について

### 二、審査の方法

審査に当たっては、町長より提出された各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調査等について計数の正確性、財政運営の健全性及び予算執行の経済性について主眼を置き、かつ例月出納検査、定期監査の結果を参考にし、併せて各課に事業執行状況等を聴取して審査を行った。

### 三、審査の結果(決算計数について)

一般会計、特別会計を通じて、決算は証書類も整理され、会計経理は関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係諸帳簿その他証書類を符合した結果、正確であると認められた。

められた。

また、予算の執行に関する事務処理についても適正であることを認めた。

### 四、審査の結果(財政状況等について)

#### 【総括】

現在の日本経済は、戦後最長ともいわれる長期にわたる景気回復期間となっている。また実質GDP成長率は、世界経済の緩やかな回復を背景とした外需の伸び、失業率の低下、最低賃金の大幅引き上げによる雇用・所得環境の改善、好調な企業収益を背景とした個人消費や民間設備投資の伸びにより、僅かながら成長を維持している。

そうした中、今年度十月には、少子高齢化により増え続けている社会保障費や少子化対

策への財源確保を図るため、消費税率一〇％への引き上げが予定されている。個人消費の落ち込み等による景気の悪化が懸念される中、引き上げに伴う税収分により地方財政の安定化が図られ、住民サービスの向上が期待される。

平成三十年度における一般会計及び特別会計の歳入決算総額は五十五億四千八百四十九万六千二百八十九円、歳出決算総額は五十三億四千八百八十八万七千五百九十九円となっており、歳入歳出差引残高は二億六百六十一万五千五百三十円である。(表①・表②)

町財政を分析すると、経常収支比率においては経常経費の増加により八九・一％(前年度八七・〇％)と二・一ポイント増加した。また、公債費については、実質公債比率が九・九％(前年度一〇・一％)と〇・二ポイント減少した。実質公債比率は三か年の平均値であり、二十八年度以降、公債費及び公債費に準ずる経費に係る金額が減少したことなどにより、単年度毎の比率が減少したためである。また、財政力を判断する財政力指数は〇・四七(前年度〇・四六)と〇・〇一ポイント増加した。

今後、財政規律問題等から景気の先行きが不透明なことを考えると、更なる行政改革を推進し、町債の新規発行を極力抑制し、健全な行政運営に努められたい。(表①～表④)

## 【一般会計】

平成三十年度一般会計決算は、歳入総額四

十億五百五十六万八千二百四十五円(前年度比二一・七％増)歳出総額は三十八億四千三百四十四万五千二百六十三円(前年度比二六・九％増)となり、繰越明許費繰越額千五百七十八千円を差し引いた実質収支額は、一億四千九百十四万四千九百八十二円の黒字となった。

## 〔歳入〕

当年度の当初予算においては、自主財源の根幹である町税は予算現額七億九千七百七十五万九千円に対し、調定額は八億七千七百六十五万六千四百三十三円となり、予算現額を七千九百八十九万六千六百四十三円上回った。前年度調定額八億七千六十六万七千五百三十四円に対しては六百九十八万三千九百九十九円(前年度比〇・八％増)増加した。収入済額は八億四千五百四十九万二千二百九十四円(前年度比一・一％増)であり、予算現額を四千七百七十三万三千二百九十四円上回った。歳入に対する構成比は、二一・一％となっている。

町税の収入未済額は、現年課税分七百三十三万二千九百七十七円、滞納繰越分二千三百七十三万七千二百七十四円、総額三千三百七十二万五千一百一十円となり、前年度と比較して五十六万六千二百八十九円増加、収納率は九六・三％(前年度は九六・〇％)と〇・三ポイント向上した。厳しい徴税環境と察するが、今後とも未納額の減少に努めていただきたい。

また、ふるさと納税の増加に伴い、寄附金が前年度収入済額を六億三千三百五十五万四千

百四十一円上回る十一億三千六百五十万五千円(前年度比一二五・七％増)となっており、歳入の増額に繋がった一番の要因となっている。(表⑤～表⑧)

## 〔歳出〕

一般会計の歳出は冒頭でも述べたとおり、平成三十年度決算は前年度と比べ二六・九％増加した。

また、各課の主な事業の執行状況を確認したが、それぞれの経常的な事務処理が滞りなく執行されていた。

歳出予算現額に対する不用額は、全体で一億千七百三十三万四千七百三十七円となっている。これは、費用対効果を精査及び吟味した結果として、主に総務費二千九百二十六万六千二百六十六円、民生費二千七百三十四万三千七百十六円、教育費二千二百四十二万九千七百十六円、土木費千四百六十二万四千八百四十三円の不用額となった。今後も厳しい環境下、限られた予算の中で「最小の費用で最大の効果」の基本を確実に実行されたい。

## 【特別会計】

### 〔国民健康保険特別会計〕

本会計については、平成三十年度からの国保制度改革に伴い、町から県へ予算が移行され、また共同事業が廃止されたことにより、歳出決算規模は六億五千二百四十九万九千五百円(前年度比一四・四％減)となった。実質収支額は二千五万四千八百四十五円(前年度は二千五十四万六千九百六十五円)となった。



表④

年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
実質収支比率 (%)	9.4	8.9	11.0	13.1	7.6
経常収支比率 (%)	86.4	82.1	84.3	87.0	89.1
実質公債費比率 (%)	11.7	11.2	10.6	10.1	9.9
財 政 力 指 数	0.45	0.45	0.45	0.46	0.47

表⑤

区 分	予算現額A	調定額B	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入歩合 (%)	
						A	B
平成30年度	3,987,565,000	4,053,139,194	4,005,568,245	1,088,098	46,482,851	100.5	98.8
平成29年度	3,203,123,000	3,329,017,654	3,292,447,752	4,216,240	32,353,662	102.8	98.9
増 減	784,442,000	724,121,540	713,120,493	△3,128,142	14,129,189	-	-
前年度比 (%)	+24.5	+21.8	+21.7	△74.2	+43.7	-	-

表⑥

年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
町税収納額 (千円)	775,349	750,728	785,380	835,887	845,492
歳入構成比 (%)	27.8	25.8	27.7	25.4	21.1

表⑦

年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
地方交付税額 (千円)	888,611	950,111	948,178	913,326	865,068
前年度比 (%)	△2.9	+6.9	△0.2	△3.7	△5.3

表⑧

(単位: %)

年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
自主財源比率	43.6	40.0	43.7	52.8	60.3
依存財源比率	56.4	60.0	56.3	47.2	39.7

## 基金運用状況

表⑨

(単位: 千円)

	区 分	3月末現在高	前年度比
1	財政調整基金	1,214,989	163,271
2	減債基金	65,900	63
3	地域福祉基金	85,000	0
4	高齢者福祉対策基金	21,246	0
5	生活環境整備基金	10,000	0
6	ふるさと農村活性化対策基金	7,000	0
7	教育施設整備基金	24	0
8	まち・ひと・しごと創生基金	96,580	21,740
9	ふるさと納税基金	347,000	347,000
10	国民健康保険事業財政調整基金	33,740	33,673
11	介護給付費準備基金	125,090	5,176
	計	2,006,569	570,923

## 公債費の状況

表⑩

(単位: 千円)

	区 分	3月末現在高	前年度比
1	公共事業等債	35,440	△6,333
2	公営住宅建設事業債	335,934	△35,027
3	災害復旧事業債	5,200	0
4	(旧) 緊急防災・減災事業債	45,013	△11,142
5	全国防災事業債	35,017	△4,983
6	学校教育施設等整備事業債	7,734	△1,478
7	社会福祉施設整備事業債	25,558	△4,508
8	一般補助施設整備等事業債	98,049	△13,966
9	一般単独事業債	188,986	27,343
10	財源対策債	0	△1,012
11	減税補てん債	16,482	△6,210
12	臨時財政対策債	1,350,267	△25,417
13	その他	27,581	1,642
	計	2,171,261	△81,091

国民健康保険税については、収納率は八五・八三%（前年度は八五・四三%）で〇・四ポイント改善した。六万七千四百円の不納欠損後の滞納繰越分は、千八百五十七万三千五百七十二円となり前年度と比べ十八万二千八百七十円減少している。現年末納額は四百六十八万九百円であり前年度と比べ十四万五十七円の減額となっている。本会計の主要な財源確保のために、国民健康保険制度の啓発と更なる保険税の徴収に努められたい。

### (後期高齢者医療特別会計)

本会計の歳出決算規模は六千五十八万五千七百六十九円（前年度比三・一%増）で、実質収支額は八十九万二千七百円（前年度は百二十万千円）であった。

後期高齢者医療保険料については、収納率一〇〇%であり、今後も制度の啓発を図るとともに、一〇〇%収納に努められたい。

### (介護保険特別会計)

本会計の歳出決算規模は四億四千八百三十七万二千六百八十七円（前年度比七・五%増）と三千四百六十六万二千五百八十六円増加した。本年度は、町内に介護老人福祉施設が開業されており、介護サービスの利用状況は五千四百四十三件、三億五千五百八十八万三千九百四十四円（対前年度六百十五件増、三千六百四十一万六千三百七十四円増）となった。

また、介護予防サービスについては九百九十九件、千三百三十八万六千七百三十八円（対前年度七十六件減、百二十七万二千三百十三

円減）となった。介護給付費合計は七千四百七十七件、三億九千九百三十九万七千五百六十六円（対前年度六百二十九件増、三千八百三十二万四千三百九十八円増）であった。

被保険者数は前年度より二十九人増加し合計千七百十三人、要介護認定者数は十五人増加し、合計二百八十人となっている。

介護保険料の収納率は九八・一%（前年度九八・六%）であった。今後も制度の啓発を図るとともに、収納率の向上に努められたい。

### (特定環境保全公共下水道事業特別会計)

本会計の歳出決算規模は、二億四千四百五十二万四千四百八十三円（前年度比〇・五%減）となった。

本事業による水洗化率は、九五・九%（前

年度比〇・一ポイント増）となっており、今年度後に於いても水洗化率の向上に努められたい。使用料の収納率は九九・三％（前年度九九・一％）、収入未済額四十三万三千四百六十八円（前年度五十四万二千六百四十三円）となった。今後も未納額の減少に努めていただきたい。

【農業集落排水事業特別会計】

本事業については全て事業が完了しており、維持管理費及び公債費が主な支出となっている。

各地区の水洗化率は、大山・井高地区一〇〇％、夕田地区一〇〇％、加治田地区九八・九％、大平賀地区九五・九％で、全体では九八・三％（前年度九八・〇％）となっている。

また、使用料の収納率は九九・一％（前年度九八・六％）、収入未済額は三十万二千七百二十一円で前年度より十八万六千三百七十二円減少した（不納欠損額〇円）。今後も未納額の減少に努めていただきたい。

【基金運用状況】

年度中の財政調整基金については、一億六千三百二十七万五千三百九十九円の増加（前期は三百七十七万九千六百五十八円の増加）となった。まち・ひと・しごと創生基金は二千七百七十四万六円、国民健康保険事業財政調整基金は、三千三百六十七万三千円の増加となった。

また、新たにふるさと納税基金を創設し、三億四千七百万円を積立した。

基金全体では、総額二十億六百五十六万八千七百五十一円となり対前年度五億七千九十二万二千二百八円増加した。

財政調整基金については、後年の財政運営のために適切な資金の確保に努められたい。一方、その他の基金については、今後とも目的に沿った活用と安全な運用管理をされたい。

（表⑨）

【公債費の状況】

公債費については、新規発行額が一億六千三百三十万円、償還額が二億四千四百三十九万九百五十六円となり、前年度より八千九百九十五十六円の減額となっていることを確認した。（表⑩）

平成三十年富加町水道事業会計  
決算審査意見書

富加町監査委員 高垣 昌司

川崎 伸泰

水道事業においては、安全な水を安定的に供給することが重要な使命であり、特に震災等の非常時における、ライフラインの一層の強化を図る必要性に迫られている。

平成三十年においても、前年度同様に水道事業基本計画（平成三十年～令和十一年）に基づき、国の補助事業等による事業を実施

された。今後も耐震管を用いた老朽管の更新工事を計画に沿って着実に整備されたい。

有収率については、積極的に漏水調査を実施されているが依然として低いため、流量計の設置を検討し、漏水と疑われる箇所の特定に努めるなど、有収率向上に向けた対策を講じられたい。

滞納状況については、前年度に比べ、滞納者数五人、滞納額十六万円の増となった。今後法的措置を含んだ厳正な処置を執るなど、滞納の減少に努められたい。（表⑪・⑫）

水道決算意見書に関わる表

表⑪ 年間有収率 (単位：％)

年度	26	27	28	29	30
有収率	91.46	89.13	90.73	84.03	84.53

表⑫ 滞納明細 (単位：万円)

年度	26	27	28	29	30
滞納者数	22	32	39	35	40
金額	63	80	125	73	89



# 一般質問

## 町政 Q & A

第4回定例会の一般質問は、9月20日に6人の議員から10件の質問が行われました。質問と答弁の要約は次のとおりです。

再質問及びその答弁は掲載しておりません。全容は富加町ホームページをご覧ください。



※紙面の都合上、実際の質問の順序を変えて掲載しています。

一般質問は、定例会において行われ、その内容は行財政全般にわたります。議員は、質問の要旨を事前に議長に通告し、議長の許可を得て質問をします。質問の回数は、再質問を含め3回までとなっており、議長が質問を制限する場合があります。

### 補助金、助成金の実効性について



今定例会では、平成三十年年度の会計決算の報告と監査報告が行われました。

ここで、町の一般及び特別会計に計上された多種に多岐にわたる補助金等の執行について、その状況をおたずねします。

町の会計には、幾多の補助金及び助成金がありますが、平成三十年三月の定例議会で可決された予算のうち、執行額のないものがありますか。或いは、予算に対する執行率が異常に低いものなどがありますか。

あれば、どのような状況にあるのか、補正前の予算にてご説明願います。



#### 【足立 参事】

平成三十年年度当初予算では八十一項目の補助金があり、うち執行の無いものが十二項目あります。執行率の低いものは、全ての年度で共通して言え



佐曾利 敏 議員

ますが、実績などから見込み件数で予算を計上しており、年度によっては申請が少なく、低い執行率や執行が無いことが生じることになります。しかし、補助金は有用性の高いもののみ計上しており、執行が無くても必要な補助金は充分精査した上で、申請に備えある程度の予算を組んでいます。



補助金などの実績が報告された平成30年度一般会計歳入歳出決算書

## 路面の凍結に関して



現在九月で、まだまだ暑さを感じる中ですが、道路・歩道の凍結に関して質問致します。富加町内の道路・歩道において冬の期間（数日〜数週間）、一部でも凍結したままになっていない道路は何か所あるのでしょうか。凍結する道路・歩道は道路に面する山の草木により日当たりになくなっていきます。そういった路面凍結に繋がるかもしれない草木を担当課は把握し、毎年対応しているのでしょうか。



【足立建設課長】

冬期においては岐阜県及び富加町で、町内幹線道路の除雪や融雪材の散布を地元建設業者に委託し、凍結等による交通事故等の防止を図っています。

数日から数週間にわたり凍結する道路の箇所数は、気象条件によりその都度異なりませんが、県管理道を含めた町内



看板を設置して注意を促す交通安全協会の役員さん（昨年度の様子）

主要幹線道路においては十二か所ほどであると認識しています。凍結等の原因となる道路沿いの草木の把握は、幹線道路沿いの山林など地形要因による箇所は認識しています。民有地の場合その維持管理は土地所有者であるため、道路管理者は伐採など直接の対応は基本的には行えませんが、見通し不良や倒木の恐れなど道路通行に支障を来す箇所のうち、産業環境課と連携のうえ、森林環境税関連事業の要件に合致するものは伐採等の整備を行っています。地域で危険な箇所等あれば、その都度ご連絡をお願いします。



渡邊 圭太 議員



富加小学校の児童会に關してお伺いします。

現在、富加小学校には各委員会における委員長はいるのですが、児童を代表する児童会がありません。児童会がなくなった時期、理由をお教えください。



【澤野教育課長】

以前はあった児童会が、なくなった理由と時期につきまして、理由は定かではありませんが、平成二十一年度に児童会組織の見直しを実施しています。

現在の富加小学校には、高学年の児童で組織する「代表委員会」があり、児童による自主的かつ自治的な活動が行われています。この会が児童会の役割を担う組織であると理解しています。

教育委員会としては、高学年の



児童が元気に学ぶ富加小学校



渡邊 圭太 議員



現状の町政と将来像について



山田 直行 議員



一・町長が思われる町政の現状と将来像

二・平成の大合併について、その後の富加町及び合併された旧町村の現状はどう見ておられるか？

三・ふるさと納税のおよそ四・五億円の収入の使い道は？

また、本年度のふるさと納税収入が減ると思われるが、その対策は？



【板津町長】

第一の私が思う町政の現状として振りますと、

私のマニフェストの施策について、その多くは実現することが出来ましたが、少しずつその成果が表れていると感じています。将来像については、富加町総合戦略及び第五次総合計画を基本とし、現在進めている人口増加対策を積極的かつ着実に推進することが重要と考えます。日本の人口減少は「待ったなし」の状態にあり、対策は早

ければ早いほど効果があり、事態への対応を先延ばししないことがその基本姿勢であると考えます。私の政策も、子どもを安心して産み、育てられる富加町とすることが人口減少の流れをストップすることに繋がり、本町の可能性を一層大きくする基本方策であると信じています。

第二の大合併については、合併した他の市町村の評価については、様々な検証があり改めて言及できませんが、本町にとって合併破綻は、本町を見つめ直す良い機会となり、町にとつては良かったのではと判断しています。

第三のふるさと納税については、約三億円はふるさと納税基金に積み立て、約一億五千万円は四十五の事業に充てました。今後は、サービスの提供などを返礼品として増やしていくこと、他、寄附金が大幅に減少すると思われることから、基金のより効果的な活用が必要と考えます。

富加町の文化財等の伝承について



山田 直行 議員



一・現在ある公園、旧跡、文化財等の整備拡充はされるのか？

二・その発信の仕方は？

三・人材育成は？

四・今後の文化財等の予算案は？

【澤野教育課長】



公園・古墳・旧跡・文化財等の整備拡充について、その取り組みの一例として、

県指定の重要文化財である夕田茶臼山古墳をはじめとする「夕田古墳墓群」の「国史跡」指定を目指し、



3世紀前半代の前方後円形を呈する「夕田茶臼山古墳」



町の歴史と暮らしを紹介する町郷土資料館

現在協議を続けています。また、平成二十八年度には「歴史マンガ・夕雲の城」を刊行した他、城跡への見学道の整備や案内看板の設置についても行っています。情報発信については、町広報誌やホームページほか、マスメディアの活用など積極的に行っています。人材育成については、学芸員の資格をもった専門職員を配属しているほか、歴史ガイドの養成にも取り組んでいます。文化財等の予算については、継続的確保に努めます。



空き家と鳩被害について



木村 康夫 議員



Q 空き家を塹ねぐらにする鳩の糞害などによる近隣住民への健康被害を危惧する声があり、行政に対策を求めています。空き家対策面と健康環境面から行政の対応は必要ではないかと思いましたが見解は？

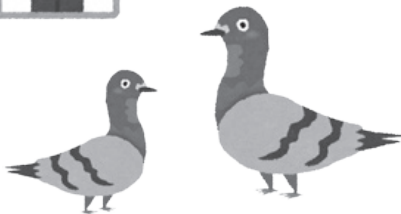
- 一・空き家に住む鳥獣被害に対し、現状での行政の対応と方針は？
- 二・迷惑空き家（仮称）として管理レベルを考えるべきと思うが？

【足立 建設課長】



A 空き家は、所有者自らの責任で管理することは

第一次的な責務であり、町はその管理責任を補完するため必要な措置を講ずる責務があり「富加町空き家等の適正管理に関する条例」を制定し、対策に取り組んでいます。空き家に住む鳥獣被害の対応と方針は、まず所有者等に状況報告と現状の解消等の対応を文書で依頼します。その後、対応が無い場



合は「特定空き家等に対する措置に関するガイドライン」により建物調査を行い、助言・指導を行います。生活環境の保全が図れない状況の判断や管理レベルは、前述ガイドラインの基準により行いますが、詳細は今後検討を重ねる必要があります。

様々な事案が想定されますが、関係部所と連携し、解決策に取り組んでいきます。

食品ロス削減へ啓発活動は進んだか？



木村 康夫 議員



Q 二〇一九年五月に食品ロス削減法が成立し、食品ロス削減は国の方針となりました。二〇一七年六月議会での答弁では、食品ロス削減対策に前向きな姿勢を示されたとの理解し、動向を再度質問します。

- 一・最近二年間の食品ロス削減の具体的な啓発活動は？
- 二・第二期食育推進計画に食品ロス削減を盛り込まなかったのは何故か？
- 三・食品ロス削減の今後の対応方針は？



A 【川合 福祉保健課長】食品ロス削減の啓発活動として、チラシの班回覧を行っています。第二期富加町食育推進計画では、食品ロスについて、具体的に健康課題として盛り込むことができませんでした。

住民健診の結果からも、まずは、標準体重を維持するための食生活の支援や栄養バランスのとれた食



平成31年3月に策定された第2期富加町食育推進計画

今後は、食生活サポートの会などの活動の中で、啓発活動を実施し、子ども園や小中学校の食育に関する取り組みを継続していきます。

事についての知識の普及を優先し、食品ロス削減については、次期計画に具体的な取り組みを盛り込むこととしました。今期の計画では「食品ロス」という表現はしていませんが、「地域に根ざした食育の推進」という基本目標に含めて事業を展開していこうと考えています。

## 地域に還元できる道の駅について



昨年六、九月議会で「駐車場増設が必要である」と議員発議があり、答弁

において「平日においては特に不足することない。土日祝日イベント時には満車になる。」とあります。一過性のピーク時のために駐車場を広げるべきでないと考えます。

そこで私は駐車場を広げるための案を示させていただきまます。通勤通学のための名鉄新鵜沼までの無料シャトルバスを運行する。その利用者のために駐車場を増設する。平日は通勤通学のための駐車場として祝祭日のイベント時にもそれを使う。これならば町民の皆様の理解を得ることができると思いますが、いかがでしょうか。

【板津町長】



道の駅駐車場の増設について、町としても前

向きになるべく早期での事業化を目指しているところであり、さらなる道の駅の活性化のため、駐車



開駅10年目を迎えた  
道の駅「半布里の郷とみか」



井戸 亨 議員

場の規模や付帯施設などの整備方針を検討している段階であります。鵜沼駅までの無料シャトルバスを町で運行することについては、利用者数が限定的であると思われることや費用対効果、公平性の面においても実現が難しいものであると推測します。

しかしながら、民間事業者の運行により美濃加茂市や関市などからの経由地としての活用というような計画があれば、道の駅駐車場の整備計画においても検討の余地があるものと考えております。

## 教育長について



教育長は学校教育と社会教育の両方を管轄し指導します。ことに学校教育

においては校長の上に立つ最高の指導者であります。一市七か町村美濃加茂市加茂郡管内には、教育職ではなく行政職出身の教育長は富加町だけです。新しい教育長制度に代わって四年の任期から三年となりました。その三年が過ぎ今定例会において再任されたわけでございます。

過去二年間の総括、そして行政出身の教育長だからこそできたことがあったと思います。今後、より一層素晴らしい地域の宝である子供たちを育てるための戦略・見通しをお聞きします。またこれを達成するための人材確保の思いも合わせてお聞きします。

【粥川教育長】



学校教育ではALTの常勤化や宮城研修の研修報告を「青少年を守る集い」の中

で行い、広く町民の方に知っていただく機会としました。また、「富加町子どもいじめ防止等に関する条例」の制定のほか、ICT環境の整備、小学校体育館トイレの洋式化も行いました。

社会教育では、ALTを活用した公民館講座の開設や図書検索システムの導入のほか、今年度には休日夜間に図書を返却できるポストの設置を予定しています。成人式は、今後も双葉中学校卒業生が参加できる式典にしていきたい。町民スポーツ大会は、本格的に見直しを開始しました。

二期目に当たっては、ふるさと教育や通学時の安全対策などの環境整備を進めるとともに、引き続きICT環境の整備も進めたい。また、増加する未満児保育の受け入れ態勢や、多様化する子育て相談態勢にも努めたいと考えています。



井戸 亨 議員

## 地域子育て助成金について



川崎 伸泰 議員



この七月下旬に私の自治会では、地域の子ども達を積極的に取り込んで、マヌ釣り大会が開催されました。

大会には、地域の全組織・団体や自治会内外から約二百名の参加があり、和やかな開催が出来ました。

この運営には、自治会やその他各種団体から運営の費用が補填され、必要な資材の購入を一〇〇%カバーされていました。このことは、行事の企画運営への取り組みを大きく後押しし、後ろから支えていました。

今後、町がその様な財源を助成することについて積極的に取り組んでいくのならば、これまでの助成金とは別次元で、平易な申請や報告である要件も必要でしょう。

未来に向かって人口増、町外からの流入を厚く考慮する「板津町政」ですが、ここで一度、内に向かつて、在住する子ども達の育成に自由度の高い「地域子育て助成

金」の創設を検討される余地はありますか。



【粥川 教育長】

少子高齢化に伴い、家庭や地域でのつながりが希薄化する中で、ご質問のようなイベントを実施されたことに敬意を表します。

地方自治法により、普通地方公共団体は、その公益上必要がある場合においては、寄付又は補助をすることができるとされています。

従って、補助に当たっては、公益性、有効性や効率性、妥当性、費用対効果、公平性や透明性などをチェックする必要がある、申請や実績報告等について、ある程度のお手間を取らせることは止むを得ないこととご理解いただきたい。

ご質問の趣旨に対応した補助金として、総務課で所管している「住民提案型協働事業補助金」がありますので、活用についてご検討をいただきたいと思います。

## 議会だより

リニューアル第2弾！  
全ページ文字を大きく

皆さまにより親しんでいただけるよう、議会だよりの刷新に取り組むことにしました。

先号の「一般質問」ページのリニューアルに続き、今号から全ページの文字を読みやすい書体、大きさに変更しました。

議会だよりに対するご意見、ご感想がございましたら、議員へお声掛けください。

富加町議会事務局

TEL 0574-54-2161 (直通)

FAX 0574-54-2461

## 県自治功労者表彰を受賞

佐曾利 敏議員が、町議会議長を7年以上務められ、地方自治の進展のために大きな役割を果たしていることが高く評価され、この度、岐阜県町村議会議長会長から、自治功労者表彰が贈られました。



表彰を受ける佐曾利議員 (左)



# 常任委員会視察研修報告

## 総務産業建設常任委員会

日 程 令和元年七月二十三日(火)～  
二十四日(水)

視察先 三重県玉城町・和歌山県太地町

視察項目 「公共交通について」

出席者 委員長／木村康夫

副委員長／山田直行

委員／川崎伸泰・梅村登次

帯同職員／板津町長、福田総務課

長、川合福祉保健課長、  
亀山議会事務局長

### 報告者 木村康夫 委員長

公共バスがなくなり五年経過し、住民の高齢化、核家族化も進み住民の自給努力だけでは、すべての交通弱者が交通手段を得ることが難しくなっています。また、高齢者にとっては自動車免許の返納の大きな障害となっており高齢者は交通事故の被害者であり、加害者にもなりうる状況です。そろそろ、本町でも有効な交通公共の実現が必要になっていると感じています。今回の視察では、公共交通の先進自治体の交通システムや運営実態を視

察研修し、本町での公共交通の実現に向けて選定の多様な判断材料とすることを目的としています。

一、ICTデマンド交通「元気バス」(三重県玉城町 面積四十一km<sup>2</sup>、人口一万五千四百九十八人)

バスは九名乗りが三台、会員登録が必要無料。巡回バスとタクシーの中間を狙っている。完全予約制でバスの運行ルート作成はシステム化されており自動で最適化を実現しており、運行上の無駄をなくしている。バスの停留所の立て札などの目印はないがGPSを使用したバス停の位置指示により、運転手の負担なく停留所を数百箇所まで運用ができてい



三重県玉城町のICTデマンド交通「元気バス」

る。また、自治会の要望により簡単にバス停の増設ができ、住人の利便性を向上させることができる。運行ルートなし、時刻表なし、停留所表示なしのフレキシブルな交通システムはドアtoドア運行に近いシステムと理解できます。

予約は、スマートフォンや公共施設に設置した予約パソコン、電話により可能であるが、現状はほぼ電話予約である。このシステムの導入により、無駄な運行が削減されている。年間運用コストは千八百万円であるが、元気バスを使用した人の後期高齢者医療は千百万円が削減され、高齢者の事故率の低下も認められるため、実質数百万の赤字レベルと言えます。将来的に増加が確実な交通弱者への公共サービスとしての必要費用としては許容範囲と言えるのではないかと思える。



三重県玉城町の視察のようす

二、自由乗降バス交通（和歌山県太地町 面積六㎞<sup>2</sup>、人口三千二百三十六人、高齢化率四〇％）

巡回路線バス形態で可能な限り自由乗降による利用者の利便性を向上している。小さな町であり現状より短い間隔での巡回運行を目標とし、利用実態の分析による運行効率の改善を継続的に実施している。単なる巡回バスであるが、住民のニーズに合わせルートや時刻表を最適化することにより公共交通として機能することが確認できた。利用者は百十人／日であり高評価である。自由乗降については許可官庁と忍耐強い交渉が必須である。年間運用コストは二千万円、過疎債や利用収入四百万円、結果千六百万円の赤字であるが住民サービスの必要なコストと位置づけている。



和歌山県太地町の視察のようす

公共交通には自治体の年齢分布、地域分布など特性によりいろいろなアプローチがあると思います。自動運転、AIなど技術的な進歩も早く調査分析は継続的に必須であると感じ、研修は実に有意義な結果であったと言えます。

また、太地町では、ご厚意により「鯨の博物館」「こども園」「福祉施設」「道の駅」など訪問見学、鯨食文化を体験することができました。小さな町ながら精力的に町の発展、福祉向上に努力されている状況は地方自治体の運営の参考になるのではないかと思います。また、太地町は古来より捕鯨や鯨食などの鯨に関する伝統文化を有し、世界的な反捕鯨運動から伝統文化を守ってきた事実は日本の鯨行政の最前線であると感じました。地域の文化やアイデンティティーを守る姿勢は共感でき応援できます。将来は「鯨の学術研究都市」を目指すと言われた太地町の町長のパワフルさが印象的であり、当町においても地域の独自性の観点から歴史や伝統文化の継承は重要であり参考になると感じました。



和歌山県太地町の「町営じゅんかんバス（自由乗降）」

## 文教厚生常任委員会

日 程 令和元年八月二十二日（木）

二十三日（金）

視察先 島根県隠岐の島町・出雲市

視察項目 「子ども議会（中学生議会）」について「町民スポーツ、レクリエーションの振興について」「窓口ワ

ンストップ業務について」

出席者 委員長／福田定道

副委員長／井戸亨

委員／佐曾利敏・渡邊圭太

帯同職員／澤野教育課長・日比野

住民課長・亀山議事

務局長

## 報告者 福田定道 委員長

文教厚生常任委員会は、議会をより身近に感じられる契機となり子ども達に議会の仕組みや役割を学んでもらえるよう、子ども議会の開催を検討しています。そして毎年開催される町民スポーツを活性化させる方法を模索しています。さらに来庁された町民のため、よりスムーズな行政手続きを行うことができるところで、これらの取組みを参考とすため、島根県隠岐の島町・出雲市へ視察研修を行いました。



島根県隠岐の島町の視察のようす

た。  
隠岐の島町では、平成二十六年度から町の中学三年生を対象として子ども議会を授業の一つとして取り組んでいます。子どもが議員となり子どもの視点による町の問題点を町執行部に投げかけているそうです。実施に向けて、教育委員会・役場・議会・中学校がそれぞれ事前学習・事前準備・リハーサル・当日の議会・事後のまとめ等役割を分担しています。提言が実現しているものもいくつかあり、中学生の意欲に繋がっている等の評判もありますが、テーマや提言づくりが今後の課題としてあげられています。町民スポーツ、レクリエーションの振興に関して隠岐の島町では、生涯スポーツ推進のための人材育成に力をい

れており、スポーツ推進委員の研修と組織強化・社会体育団体の育成及び活動支援が充実しています。そのため町体育協会が主催する年間十五競技ものスポーツ事業が開催されています。すべての町民が競技に参加しているわけではありませんが、各競技団体と共に開催を盛り上げるサポーターとして携わっているとのことでした。

出雲市では平成二十四年から市内十四校の生徒代表（各校二名）が集まり中学生議会を開催しています。将来を担う子ども達が市政を学ぶと共に、市政等に関して意見表明をする場として、また、子どもたちの意見を行政運営に反映する場となりました。議会当日に向けて事前勉強会を実施し、議場の見学・市政のテーマに関して市の担当課が説明を行っているとのことでした。参加した子ども達からの評判も良く、市政を知る良い機会になっています。ワンストップ業務は、死亡にかかる手続きの業務に関して行っています。窓口を市民課に設置し、申請書作成ツールを業者に委託せず職員が作成したとのことです。システムを構築したことで申請書に記入する手間が簡素化され、申請者の負担軽減に繋がっています。

今回視察した両市町とも、子ども議会を行うことで子ども達の「町に住む一員として将来を担う意識」を高めることに成功していま

す。これも立派なふるさと教育であるため、富加町にも取り入れていきたいと考えています。そして、より町議会を身近に感じてもらうために議会が積極的に関与していきたく

と思います。スポーツ振興に関しては、誰もがいつでもそれぞれのライフステージの中でスポーツを楽しめる環境を創設していかなければならぬと思います。住民の健康増進と交流の場づくりを推進していきます。ワンストップ業務に関しては、現在富加町におきましても住民課が窓口となり、各課の協力により手続きを完了させることができています。今回の視察により、申請書のシステムを構築することでまだまだ窓口業務の簡素化・申請者の作業負担の軽減が見込めることが分かりました。今後もできることを検討し、町民の皆様のためになる行政サービスができればと強く思いました。



島根県出雲市の視察のようす



## 議員研修報告

### 町内企業訪問

日 程 令和元年八月三十日（金）

視察先 株式会社KVK、まこと工業株式会社、藤本食品株式会社岐阜工場、介護老人福祉施設アルトシュタットとみか、可茂聖苑、ささゆりクリーンパーク

出席者 町議会議員全員

帯同職員／板津町長、川崎産業環境課長、亀山議会事務局長

報告者 山田直行議員

議員研修として、町内企業四社と二つの利用組合を訪問し、企業活動等の概要の説明並びに現場視察を各所一時間程行いました。

各職場におかれましては、事前の準備、当日の対応をして頂き、ご丁寧な説明並びに貴重なお話を伺い、誠にありがとうございました。

それぞれの企業とも、毎日お忙しいとのこと。そして、富加町民の方々の就労者もおられて、その一役を担われておられることとの

ことでした。

また、どの企業さんとも現状では人手不足とのこと、その対策は難しいとのことでした。

可茂聖苑では、最新の施設を見学し、ささゆりクリーンパークにおいては、四十年の設備対応能力の二十年が過ぎ、今後どのように改築、若しくは新築するのか等、今後課題となる現状とのことでした。なお、ゴミの収集量は、分別収集により徐々に減っている傾向であることでした。

この日は、私ども議員と執行部職員にとって、非常に有意義な一日でした。

いずれにしても、私を含め、何ごとにおいても私たち町民一人一人が社会参加の一躍を担っている事を充分認識しながら、生活していかなければならないと思います。



### 訪問先の視察のようす



株式会社 KVK



まこと工業株式会社



藤本食品株式会社岐阜工場



アルトシュタットとみか



可茂聖苑（美濃加茂市）



ささゆりクリーンパーク（可児市）



◆令和元年12月定例会より、一般質問において、従来の「一括質問一括答弁」方式に加え「一問一答」方式を選択できる制度を導入します

### 一括質問一括答弁方式とは

議員が質問項目すべてを一括して質問し、その後、町長など町執行部が、その質問項目について一括して答弁を行います。

質問は3回までとなっているため、探求できないまま質問を終えることがあります。



### 一問一答方式とは

議員が1つ質問した後、町長など町執行部が、その質問について答弁を行います。

質問回数に制限がないため、1つの質問に対し納得いくまで質問、答弁を繰り返します。(ただし、時間制限があります。)



◆議場見学会を行います

### 「富加町民まつり」で開催

と き 令和元年11月17日(日)

〈1回目〉午前10時～〈2回目〉正午～ 30分程度/回

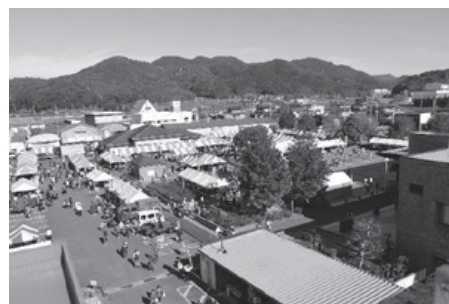
内 容 議席・傍聴席にて、議会報告等を予定しています。

\*詳しくは、10月25日回覧のチラシをご覧ください。

### 双葉中学校3年生を対象

と き 令和元年第5回12月定例会

内 容 3年生全員(95人)が、一般質問を傍聴の予定です。



第40回とみか町民まつりで開催

◆議会だよりを刷新します

令和元年8月発行号の「一般質問」ページのリニューアルを皮切りに、刷新に取り組むことにしました。今号では、委員会の活動のようす等も掲載しています。

段階的ではありますが、今後は地域の出来事などを議員目線で紹介できたらと考えています。



# 議会の動き

## 【7月】

- 3日 可茂町村監査委員研修協議会
- 4日 可茂地域一部事務組合臨時会
- 7日 富加町ソフトバレーボール大会
- 9日 富加町長良川鉄道協力会理事会
- 10日 東海環状自動車道  
中東濃地域建設促進協議会総会
- 11日 リニア中央新幹線  
建設促進岐阜県期成同盟会総会
- 12日 四線促進期成同盟会総会
- 13日 アルトシュタットとみかサマーフェスタ
- 22日 例月現金出納検査
- 23日 総務産業建設常任委員会  
視察研修（～24日）
- 27日 センチュリー21夏祭り
- 28日 みんなのラジオ体操会
- 28日 可茂町村議会議員研修
- 27日 消防団役員会

## 【8月】

- 1日 平成30年度一般会計・特別会計等  
決算審査  
健全化判断比率等審査（～7日）
- 7日 国道418号線整備促進期成同盟会総会
- 9日 議会運営委員会  
関・美濃加茂・郡上・下呂・富加  
道路網整備促進期成同盟会総会

- 19日 例月現金出納検査
- 20日 新任議員研修会
- 21日 関金山線・上之保下袋坂線  
改良促進期成同盟会総会  
一級河川津保川改修促進協議会
- 21日 あじさい小中学生サミット
- 22日 文教厚生常任委員会視察研修（～23日）
- 26日 市町村議員セミナー
- 27日 岐阜県町村議長会評議員会
- 30日 議員研修（町内企業訪問）

## 【9月】

- 1日 富加町ソフトボール大会
- 2日 中学校組合会計決算審査
- 4日 議会運営委員会
- 10日 第4回富加町議会定例会（～20日）
- 16日 敬老会  
アルトシュタットとみか敬老会
- 18日 双葉中学校体育祭
- 22日 富加小学校運動会
- 24日 例月現金出納検査
- 25日 東京要望  
議員全体研修（～27日）
- 28日 富加町交通安全大会

## 傍聴者アンケート

九月議会最終日には、十人の方が傍聴に来場されました。

ご意見の一部を紹介いたします。

▽議員の質問は現状課題のみ。将来の課題等、町民の思いと少しズレがあるのではないかと。  
▽議会だよりで読むより、議会を一眼すると臨場感があり、再質問も聴けるのがよい。  
貴重なご意見、ありがとうございました。

## 編集後記

今回の九月定例会は、平成三十年度の決算を中心とする議会でした。

執行部が出された議案については、全てを承認して閉会となりました。最終日には、たくさんの方が本会議を傍聴されました。

議会改革のひとつとして、広報無線ならびにチラシ等で、町民の方々にお知らせをした効果かなと思われまます。今後もより一層開かれた議会を目指して、議員一同精進する決意です。

今後におきましては、小・中学生の議会の傍聴、ならびに町民まつりにおける議場の公開などを実施する予定です。また、十二月の本会議においては、一問一答方式を取り入れるなど、新しい開かれた議会を目指す方向で動いています。

なお一層の町民の皆様方の御理解と御協力の程、宜しくお願い致します。

（文責 山田 直 行）

■議会広報委員会

委員 井 戸 亭  
委員 山 田 直 行